

外部資源を有効に活用した、地域を担う「人財」の育成～地域に育ち、地域に育ててもらおうキャリア教育～

高齢化率全国平均27.7%のに対し、47.0%の熱海市は少子高齢化に伴う人口減少等、将来の日本の地域課題を抱えている地域であり、本校は熱海市に所在する唯一の高等学校である。そこで熱海市の課題を自分事と捉え、地域と協働することにより、新たな価値の創造を目指す人材を育成する。

コンソーシアムの構成等研究開発の実施体制

カリキュラム開発専門家	船戸 修一	静岡文化芸術大学文化政策学部教授
地域協働学習実施支援員	水野 綾子	合同会社TURNER代表社員

熱海高校、静岡県教育委員会、熱海市役所、熱海市立多賀小学校、中学校、地元企業、熱海伊東法人会、伊豆半島ジオパーク推進協議会を構成員としたコンソーシアムを構築し、総合的な探究の時間や教科横断的な学習を通じて、地域課題等の解決に向けた探究的な学びを進める。

令和3年度の目標

地域振興・企業再生等に取り組んでいる外部人材による生徒向けの講演等を通じ、課題の明確化、解決までのアプローチや具体的方策、障壁への対処等のレクチャーを受け、課題（問い）を立て解決に取り組むことで地域の課題を「自分事」として捉える実践と、探究的学習を軸に学校設定教科・科目を新設する地域との協働による教育課程を開発する。

取組状況

昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症拡大の影響に加え、熱海市は伊豆山地区の大規模土石流災害に見舞われるという厳しい状況の中、避難所の子供たちの居場所づくりのボランティアや、被災地区の高齢者に対する現地での聞き取り調査等に、生徒が携わる機会を得られた。地域と関わり、自分たちの役割を考える貴重な学びとなった。さらに1年生の総合的な探究の時間「熱高ラボ」において「防災」を自発的にテーマに掲げフィールドワークを重ねるグループが現れるなど、地域が抱える課題を“自分事”として捉え、地域貢献を志す生徒が増えており、生徒の達成感や自己肯定感・自己有用感の向上が、アンケートの結果からも窺われる。

成果と課題

発表の仕方・プレゼンの方法について国語や英語、情報の授業で行うなど、普段の授業との連携で総合的な探究の時間に生徒の資質・能力を育むことができる

地域の人々の実際の声を聞く機会が多く得られたことにより、そこから様々なことを知り、地域の課題について考え、熱海の良さを理解しようとする生徒が増えるとともに、生徒同士互いのキャリア観に触れることにより、自分以外の人の価値観について考え、自分なりに理解しようとする生徒が増えた

ビジネス観光類型や福祉類型の独自の取組に関して、他類型を履修する生徒と協働する（教科横断的に取り組む）ことが、対象の生徒やその体験の幅が広がり、地域・企業においても事業や取組に対する若者の理解が進みメリットが大きいと考えられる。

高校生が考えた課題解決策を地域の専門家等の第三者の客観的な視点から評価をしていただくことで、生徒はやりがいや、達成感を感じることができ、新たな課題を探索していく動機付けになると考える。

総合的な探究1年生「熱高ラボ」

地域に潜む問題や課題を発見するための情報収集や、情報をまとめアウトプットする基本的技能の習得させるグループ探究活動

総合的な探究2年生「熱海ラボ」

地域の大人に触れ、地域の面白さを体感することで視点や価値観を広げ、小さな成功体験を積み重ね、街を使ったキャリア開発プログラム

教科における探究的学習（商業科）

「熱海レモンプロジェクト」・「熱海高校生エージェント&高校生ホテル」等の多彩な実習プロジェクトを実施

教科における探究的学習（福祉科）

「地域社会資源マップ作り」「介護食レシピ開発」

カテゴリ	テーマ
海5班	熱海の海岸の映えスポット探し/長浜海岸に多いゴミの種類 他
土産7班	年代別で人気の土産品/人気商品を参考に新商品を開発 他
街4班	アニメやドラマに使われた熱海/熱海温泉の歴史・効能 他
防災3班	災害時における支援、できる支援/避難指示と住民の避難の実際 他

テーマ	活動
熱海で働く、暮らす面白い大人	様々な職業人のキャリアや人生、ターニングポイントなどを聞くことで、多様な価値観やキャリアのあり方に触れる。 (木こり・パー経営・旅館業・介護タクシー起業他)
マイプロジェクトの構想と発表	自分がどの分野に興味があるか確認し、将来の夢を設定。さらに目標を達成する上で必要な短期目標を決める。(マンダラチャート作成)

名称	概要
「熱海レモンプロジェクト」	「日本のレモン発祥の地は熱海」の説を契機に、熱海レモンを生徒自ら栽培し、安心安全な熱海産レモンを全世界に発信する。広報と同時に、小中高と地域が連携し、熱海産レモンの販売、加工品開発及び販売を行う。商業科目「ビジネス基礎」
「熱海高校生エージェント(AHA) & 高校生ホテル」	ホテル実習および旅行業体験実習を実施する。安心・安全を確認できる特別支援学校中等部の伊豆修学旅行2泊3日を請け負い、準備では学校間オンラインによるコース提案や手話の試行などを行った。また前年に中止とした参加者を招いての高校生ホテルも実施。学校設定科目「観光資源」、商業科目「課題研究」
「起業家育成プログラム」	熱海伊東法人会による授業を年間3回実施し、税金についての理解を深めつつ、プレゼンテーション能力の育成を目指す。新商品開発や販売実習にも取り組む。商業科目「ビジネス基礎」

活動	内容
社会資源マップの作成	社会福祉協議会やいきいきサロンのスタッフから高齢者の移動ニーズに関するレクチャーを遠隔で受け、市役所に調査の指導協力を仰ぎ、駅前商店街と伊豆山公民館にてアンケートを実施、高齢者や被災者の交通ニーズ等の把握を試みた。
健康食×介護食レシピの開発	資格者を講師に招き患者を対象とした健康食レシピの紹介を受け、適正エネルギー摂取量の計算等を学んだ上で、実際に健康食レシピを班で作成し試食をした。

学校設定教科・科目「キャリア・マネジメント（CM）」の新設及び教育課程への位置付け

<総合的な探究の時間の現状分析>
1年1単位・2年1単位・3年1単位
①総合的な探究の時間は、学年対応であることで、②学年色が強く、毎年学年で実施内容を検討するため、③単年度計画で持続的継続的な実施にならない。
④1年生「熱高ラボ」、2年生「熱海ラボ」実施の後、⑤3年生は主に進路実現に向けた指導の時間として実施している。

<総合的な探究の時間の拡充>
1年2単位・2年2単位（計4単位）
・地域課題のテーマ設定、解決方法
「観光」観光と地場産業
「福祉」高齢化、バリアフリー
「防災」津波対策
「国際交流」外国人労働者
「エネルギー資源」温泉活用
・企業、自治体と協働し企業が求める人材の考察を通し、将来の生き方を考える。

II <学校設定教科科目「キャリア・マネジメント」令和6年度開設>
3年2単位
・SDGzを意識したテーマ
a 国際交流 [台湾高校生交流、語学力(中国語、英語)、プレゼン能力]
b 生命自然保護 [スキューバライセンス、ライフセーバー、水質保全]
c リノベーション [測量の技術・復興・DIY、建築デザイン]
d 食 [地場産品、郷土料理、和洋中、包丁さばき]
e 社会制度と福祉 [医療事務資格、ボランティア、障害者スポーツ]
f メディア探究 [報道、広報、HP更新、取材、情報発信]

総合探究からキャリアマネジメントへの接続は3年間を見通したカリキュラムマネジメントが鍵となる。生徒の自発的探究心と教員の探究心が合致した取組を、1年次の総合探究の時間から模索し、教員間の研究協議を重ねることが求められる。全教員で令和6年までに教科横断的に専門性を活かしつつ本校の魅力として創りあげていく。